

令和3年度大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 第3回学校運営協議会

□日 時：令和4年1月20日（木）18:30～20:00

□出席者：協議会委員5名、准校長、教頭、生徒部長、記録担当者

□第一部：会長挨拶
准校長挨拶
出席者紹介

□第二部：協議

◆第2回授業アンケート結果について（教頭より説明）

- ・「令和3年度第2回授業アンケート（12月実施）」について
- ・全体の肯定率は、94%から92%と下がったが、「よくあてはまる」と回答する割合が多くなり、全治の数値としては若干上昇している。（全体数値・1回目=3.56・2回目=3.58）
- ・ICTの活用により生徒のわかりやすさ、興味・関心、知識・技能の習得についての数値が高まり、生徒一人一人が授業に向き合えるようになっている。

◆令和3年度学校教育自己診断について（教頭より説明）

- ・生徒の肯定率がやや下がっているが、依然として学校に対する肯定率は高く、出席率が向上していることから学校に対する生徒の肯定感が高い状態にあると考えられる。
- ・保護者の方からは非常に高い評価をいただいたが、回答率が低く、来年度に向けて様々な方法で回答率を上げることが課題である。
- ・組織的課題や教職員間の関係については、まだ改善に向かっていない。業務の均等化や役割分担について検討し、改善する必要がある。

◆学校の状況報告【今年度の総括】（教頭・生徒部より説明）

- 【教務部】生徒数の推移、教務概要、出席率の推移など
- 【生徒部】生徒指導、特別活動、部活動、教育相談など
- 【進路部】進路状況（内定者等）、本年度の取組みなど

◆学校経営計画及び学校評価について（准校長より説明）

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を含めた健康観察カードの活用を継続しながら、生徒の心身の状況の把握と情報共有を行った。命を守ることや健康を維持増進することに主体的に取り組む力を育むために、講習や訓練を実施するとともに、配布物やHPにより保健についての情報発信も精力的におこなった。
- ・多くの授業でICTが活用され、生徒にとってわかりやすく、興味関心を高め、知識や技能が身についたと実感できるようになってきている。教員もより良い教材の作成や効果的な1人1台の端末活用に向けてのICT活用方法の習得のための校内研修等を行っている。
- ・来年度の学校経営計画に大きな変更はなく、来年度の府立学校に対する指示事項の内容と本校の現状に合わせて追記、変更している。

※ 令和3年度学校経営計画評価（案）と令和4年度学校経営計画（案）の「1. めざすが学校像」と「2. 中期的目標」について承認される。

◇委員からの意見

- ・生徒の変化について、中学校の出席状況を現在とで比較すると、不登校だった生徒の変化をもっと説明できるようになると思う。
- ・生徒がクラブ活動に盛んになっていることは良いこと。生徒が望むクラブ活動の種類が少ないが活動には満足していると思う。
- ・教員の不満や高ストレスの改善は、学校の中だけではなく外部の協力も必要ではないか。コロナ過であるということも原因だと感じる。

◆まとめ

- 次年度は、本来の学校生活が戻ってくることを願っている。また生徒にとって学校生活がさらにより良いものになるように努めていきたい。

☆ 授業アンケート、学校教育自己診断の集計結果、学校経営計画については、本校ホームページの【情報公開】の頁に掲載しています。